F SPORT PARTS

MS311-60001
フロントバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTS フロントバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MS311-60001-A0	ホワイトノーヴァガラスフレーク〔083〕	LX	
MS311-60001-B0	ソニックチタニウム〔1J7〕		
MS311-60001-B1	マンガンラスター〔1K2〕		
MS311-60001-B2	ニュートリノグレー〔1N0〕		
MS311-60001-C1	グラファイトブラックガラスフレーク〔223〕		
MS311-60001-G0	テレーンカーキマイカメタリック〔6X4〕		

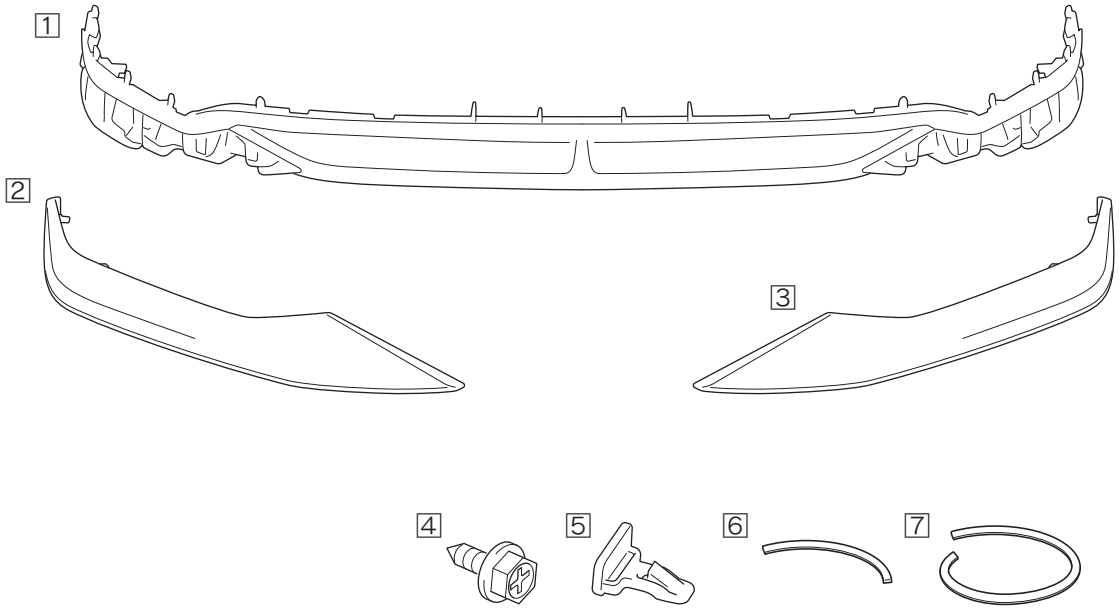
・最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。https://www.trdparts.jp

■ 構成部品

No.	部品名	品番	数量	備考
1	フロントバンパーガード	—	1	
2	フロントスポイラーRH	—	1	
3	フロントスポイラーLH	—	1	
4	スクリュー	—	4	
5	リテーナー	—	2	
6	アーチモール復元両面テープNO.1	—	2	フロントバンパー
7	アーチモール復元両面テープNO.2	—	2	フロントフェンダー

・開梱時に本体破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

■ 構成部品図



■ リペアパーツセット（補給）

品番	部品名	備考
MS380-60H01	フィッティングキット	4(4本)5(2個)6(2本)7(2本)

・開梱時に本体破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

■ 取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前は必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警 告　この警告に従わず､誤った取り付け･取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注 意　注意事項を守らないで､誤った取り付け･取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり､車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。

アドバイス　スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠やってはいけないこと　　❗必ず行っていただくこと

⚠ 警 告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、
重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、
本書の注意事項を守り作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクを守り、確実に締め付けてください。
締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注 意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗ エンジンルーム内、ラジエーターキャップ付近に配線を通したり部品を取り付けがある場合は、
腕当や上着がラジエーターキャップに接触し、キャップが緩む場合があります。
ラジエーターキャップが緩むと冷却水が飛び出し思わぬケガや、そのまま走行した場合、
オーバーヒートに繋がるおそれがあります。
ラジエーターキャップに限らず、用品取り付け作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

❗ タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。
洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないようご注意ください。

❗ 特に指示のない限り、取り外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、
上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの
溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープが剥がれるおそれがあります。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 外気温が 15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。
- ❗ 両面テープの圧着はテープの直上を 49N(5kgf) 以上 (車両が軽く揺れる程度) で確実に押してください。圧着が足らないと両面テープが剥がれるおそれがあります。
- 🚫 接着力を促進するため、取り付け後 20 分以内は洗車しないでください。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 商品を塗装する際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は商品の変形が無いよう固定してください。
又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので、下記温度条件で乾燥させてください。

＜温度条件＞

ABS 系：60℃以下、PP,PPE 系：70℃以下

取り付けが終わったら

- ❗ 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
- ❗ 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
- ❗ 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子をはずした場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書 (トヨタ自動車 (株) 発行) に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

品番・適合車種 ・・・・・ 1
構成部品 ・・・・・ 2
構成部品図 ・・・・・ 2
リペアパーツセット (補給) ・・・・・ 2
取り付け上のご注意 (取り付け作業者の方へ) ・・・・・ 3 ～ 4
目次 ・・・・・ 4
取り付けに必要な工具・保護具・消耗品 ・・・・・ 4
保証について ・・・・・ 4
取り付け構成図 ・・・・・ 5
取り付け準備、取り付け要領 ・・・・・ 5 ～ 7
取り付け完了後の点検・注意事項 ・・・・・ 7

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・養生テープ・保護シート

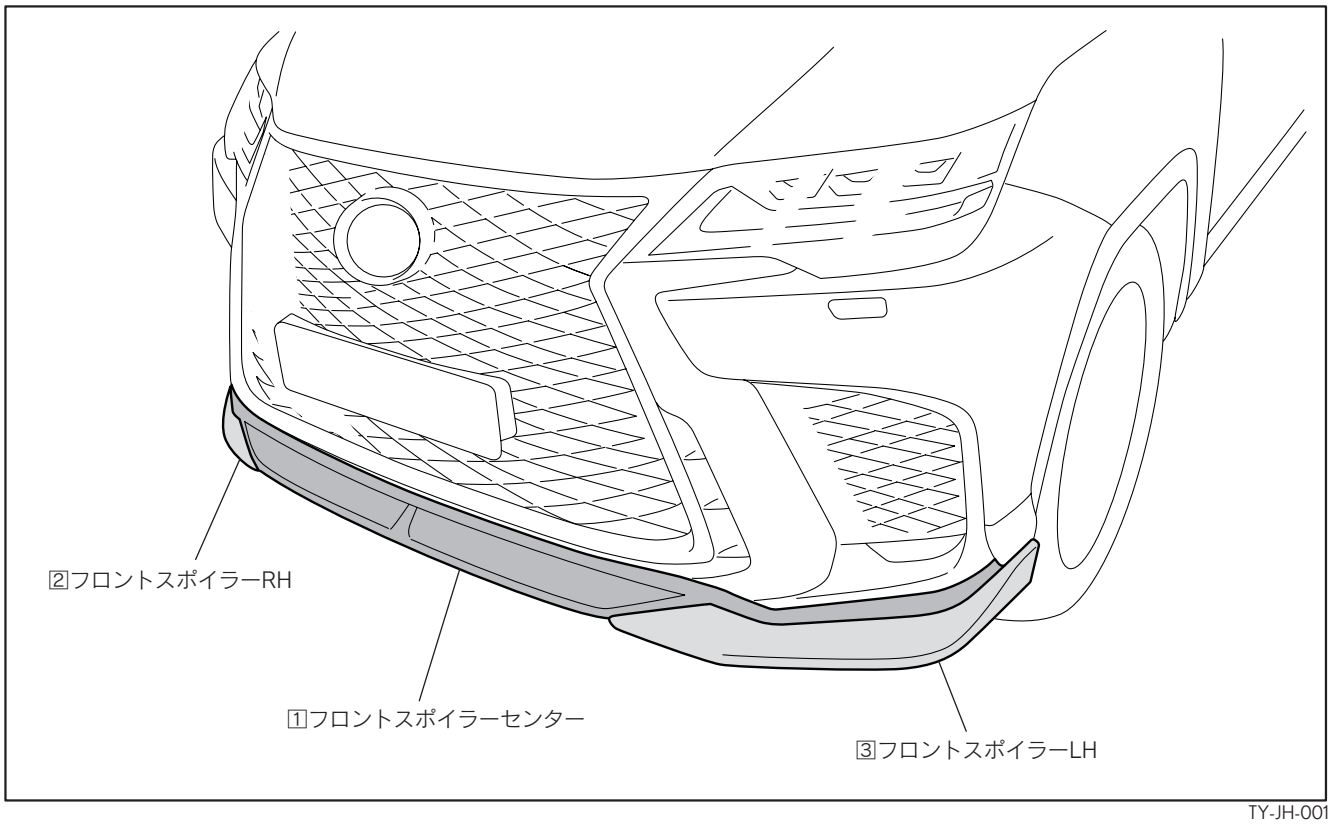
■ 保証について

本商品は、3 年・60,000 Ｋｍの保証を実施致します。
(3 年または 60,000 Ｋｍ走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はＴＲＤ公式サイト＜ https://www.trdparts.jp ＞「保証について」をご覧ください。

■ 取り付け構成図

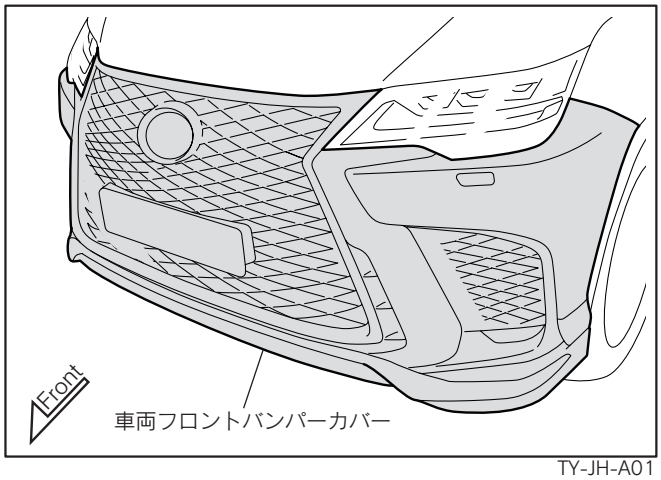
本書では、LH 側と RH 側の取り付け要領が共通の場合、LH 側の取り付け作業要領のみを記載しています。RH 側は同様の手順で取り付けてください。



TY-JH-001

■ 取り付け準備、取り付け要領

・フロントバンパースポイラー取り付け準備

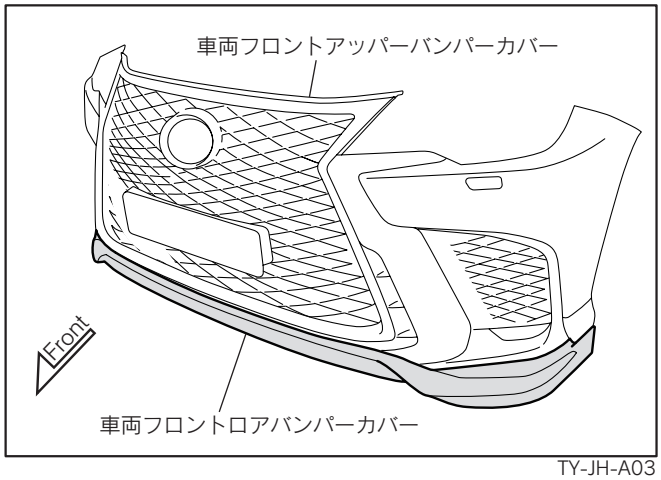


TY-JH-A01

1. 該当車両の修理書に従い、車両フロントバンパーカバーを取り外す。

⚠ 注 意

車両から取り外した部品は、特に指示がない限り、すべて再使用しますので、傷付きや紛失に充分注意してください。



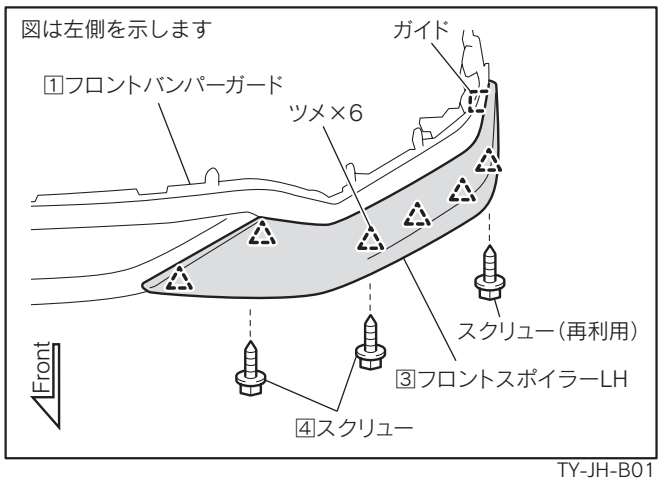
TY-JH-A03

2. 該当車両の修理書に従い、車両フロントロアバンパーカバーを取り外す。

アドバイス

車両フロントロアバンパーカバーは再使用しません。

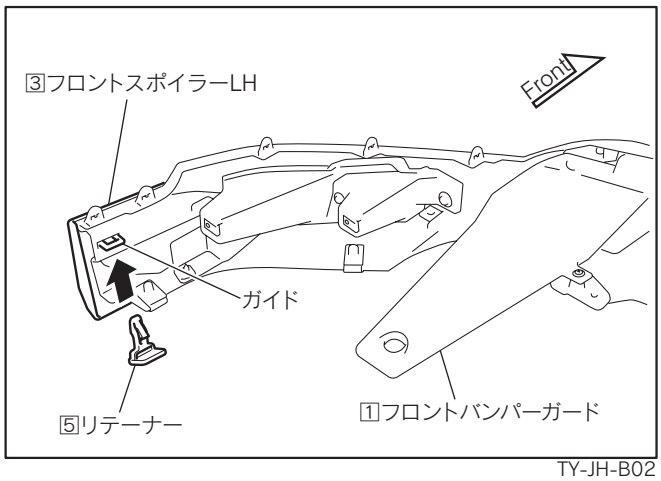
・フロントバンパースポイラー取り付け要領



TY-JH-B01

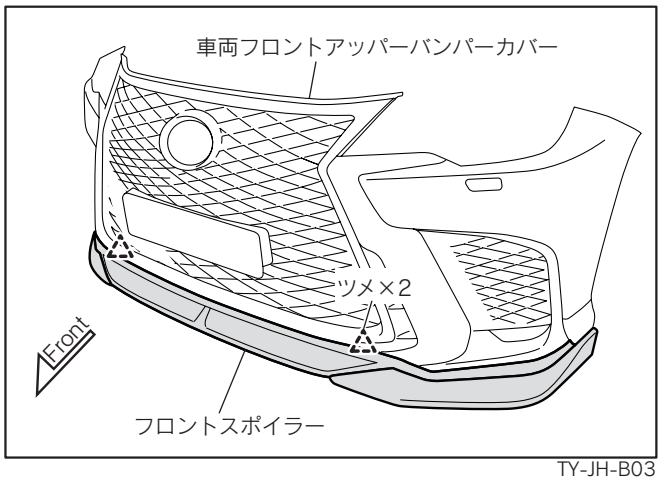
傷つき防止のため、保護シートの上で作業をしてください。

1. ツメ（6 箇所）を嵌合し、3 フロントスポイラー LH を 1 フロントバンパーガードに取り付ける。
2. 4 スクリュー（2 本）及びスクリュー（1 本・再利用）で 3 フロントスポイラー LH を 1 フロントバンパーガードに固定する。



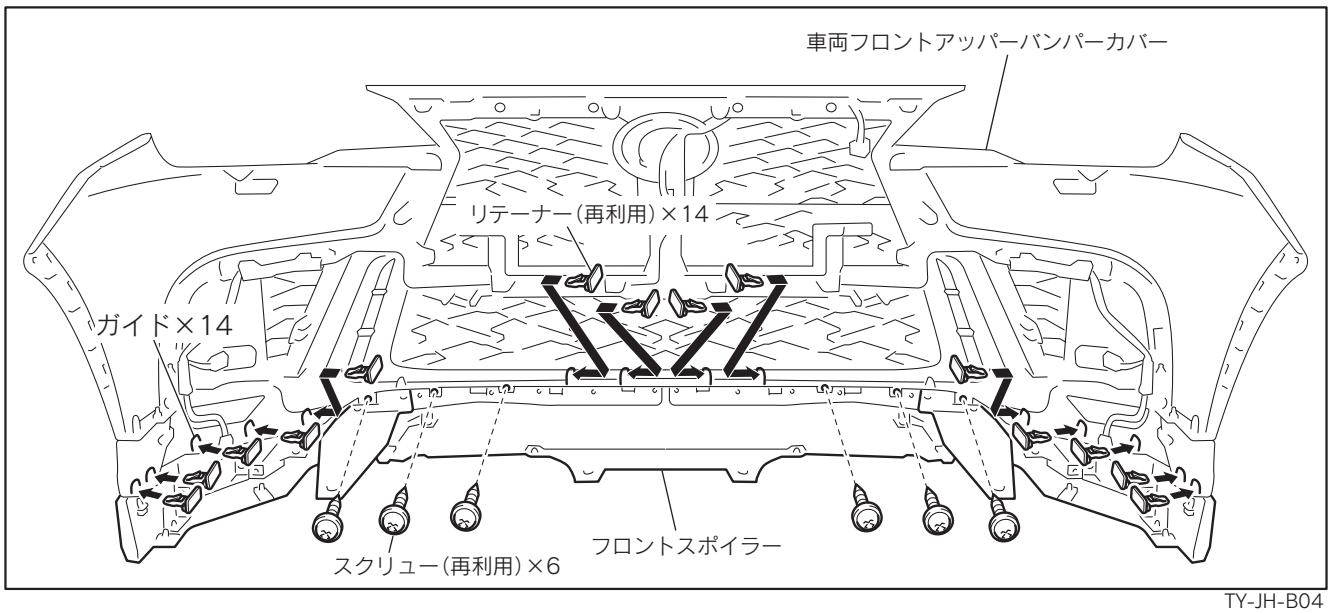
TY-JH-B02

3. 5 リテーナー（1 個）で 3 フロントスポイラー LH を 1 フロントバンパーガードに固定する。
4. 同様に 2 フロントスポイラー RH を 1 フロントバンパーガードに取り付けて、フロントスポイラーを完成させる。



TY-JH-B03

5. ツメ（2 箇所）を嵌合し、組立てたフロントスポイラーを、車両フロントアッパーバンパーカバー（再利用）に取り付ける。



TY-JH-B04

6. リテーナー（14 個･再使用）及びスクリュー（6 本･再使用）でフロントスポイラーを、車両フロントアッパーバンパーカバーに固定する。
7. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーカバーを車両に復元する。

⚠ 注 意

アーチモール復元の際は、付属の 6 アーチモール復元両面テープ NO.1 及び 7 アーチモール復元両面テープ NO.2 を使用してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS+ 等のツールが必要な場合があります。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
2. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
3. 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
4. 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
5. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント

TRD 商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

https://www.trdparts.jp/

脱脂作業要領書

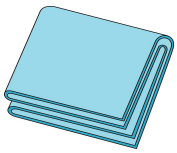
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

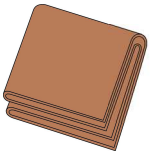
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

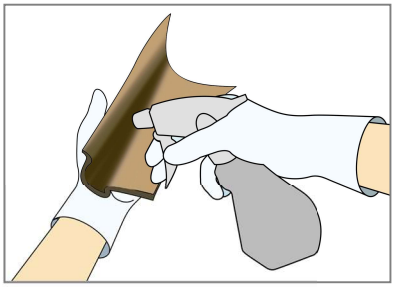

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

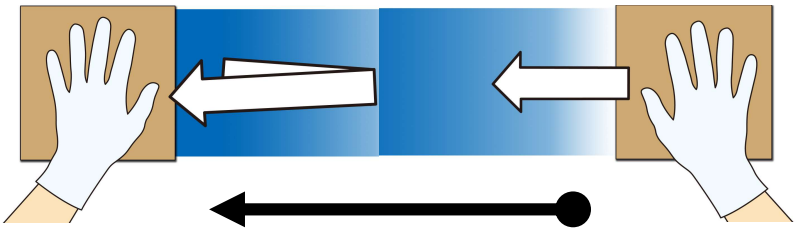


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

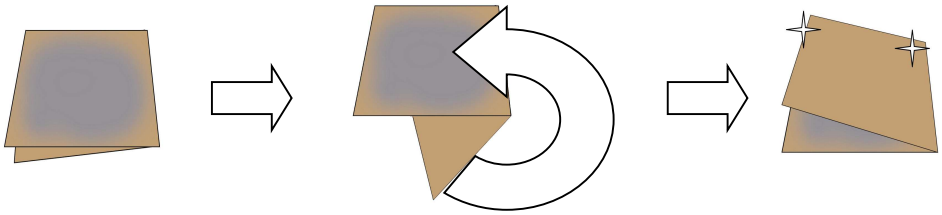
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。